

第3号

平成28年5月1日発行

ないえ 議会だより

発行 北海道奈井江町議会 / 編集 広報常任委員会



主な記事

平成28年度予算	P2
質疑あれこれ	P3~P4
町政 ここを問う（総括質問）	P5~P10
委員会報告	P11~P12
議会懇談会のお知らせ	P12



おもいやり明日へ
Kindness for Tomorrow



<http://www.town.naie.hokkaido.jp/gikai/>

奈井江町議会

検索



第1回定例会

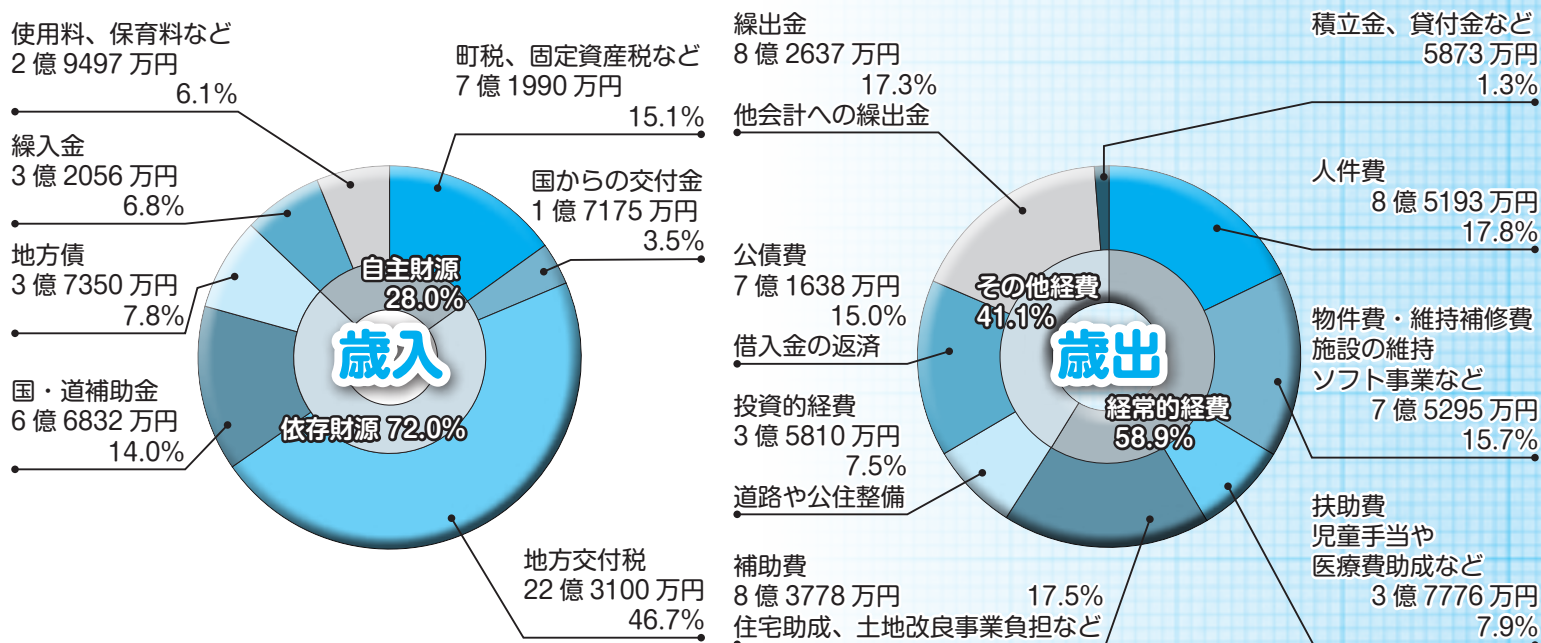
第1回定例会は、3月7日から18日までの12日間の会期で開催されました。

町長からの町政執行方針、教育長からは教育行政執行方針が表明され、平成27年度各会計補正予算、平成28年度各会計予算、条例改正、副町長人事案件など25議案を審議し、いずれも原案どおり可決・同意しました。（議会傍聴者20名）

平成28年度予算総額 75億3千万円

平成28年度各会計予算審査特別委員会は、一般会計、3特別会計、3企業会計合わせて75億3,116万円（前年度比2.2%減）となり、すべての予算・条例改正を原案のとおり可決しました。

一般会計予算47億8千万円の内訳



第1回定例会で審議された議案

<報告>

■第2次奈井江町健康づくり計画の策定

<議案>

■平成27年度補正予算（一般会計ほか6会計）

○一般会計は、行政情報システム、年金生活者等臨時福祉給付金、病院事業会計繰出金など、予算総額を49億7,373万円に

■条例の改正

- ▷奈井江町中小企業振興保証融資条例の改正
- ▷奈井江町立国民健康保険病院一部負担金及び使用料等徴収条例等の改正

▷地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例など4条例の制定

▷奈井江町認定こども園の設置及び管理に関する条例の改正

▷奈井江町米穀乾燥調製貯蔵施設、奈井江町米穀貯蔵用利雪低温倉庫の指定管理者の指定について

▷奈井江町過疎地域自立促進市町村計画について

■平成28年度予算（一般会計ほか6会計）

■副町長の選任 相澤 公氏の選任に同意

質疑あれこれ 主なQ&A

人事評価制度

問

人事評価制度導入支援業務委託について。

答 まちづくり課長

地方公務員法が改正され、平成28年度から全ての自治体で人事評価制度を導入することになった。

職員一人ひとりが業務の目標を立て、上司が評価をする制度で、そのための制

度設計、評価表の作成、職員研修費用を予算計上。

定住対策

問

今年の定住対策の予定件数について。

答 まちづくり課長

住宅建設助成は3件増の9件。

中古住宅購入助成は昨年と同じ7件。

アパート建設助成は1件減の1件。

アパート家賃助成は18件減の33件。

リフォーム助成は年間25件を5年間助成予定で、昨年の残額分を加え3件増の28件を見込んでいます。

教職員住宅の解体

問

まちづくり計画の年次計

画変更について。

答 まちなみ課長

年次計画では、古い空き家住宅を解体予定でしたが、現在7名が入居している北町4区の4棟8戸（築約35年経過）の老朽化が激しく、修繕費用がかさむことから、転居後に取り壊し、宅地として分譲する予定。

マイナンバー

問

マイナンバーカード、マイナンバー番号通知カードの対応状況について。

答 おもいやり課長

マイナンバーカードの、現在の登録者数は404件。混雑を避けるため1週間に30件ずつ案内しているため、引き渡しを終えたのは178件。

2月に郵送した番号通知カードは、272世帯が不在等

で配達されず町に戻された。

その後、担当者で住所等を確認し274世帯に届けられた。未届分については、引き続き対応していく。

エンディングノート

問

地域ケア会議で取り組むエンディングノートについて。

答 健康ふれあい課長

エンディングノートとは、近くに身寄りのない一人暮らしの方が増えてきたことから、元気なうちに老後の暮らし方など、本人の

意思を書き留めるノートです。

介護が必要になった時に、本人の希望に沿って、スムーズに介護や看護支援が受けられるよう活用を促したい。

65歳以上の希望者に配布を予定している。

子宮頸がんワクチン

問

子宮頸がんワクチンの住民周知について。

奈井江町内のこれまでの接種者数と、健康被害の有無について。

答 健康ふれあい課長

現在、国はワクチンの影響を研究している段階で、積極的に接種を呼びかけていない。

このことは、対象者にも知らせており、国の方針が変われば、改めてお知らせしていきたい。



本町では、1回以上接種された方は14人で、健康被害の届け出や、通院、医療相談ありません。

相談があれば、保健センター等で対応していく。



地域交流センター(道の駅)

問

地域交流センター西側通路の雪処理について。

昨年屋根の葺き替えをしたが、雨漏りは解消されたのか。

答 ふるさと商工課長

西側は、雪が建物や暖房排気口に支障がないように注意して管理している。

昨年行った二重屋根改修では、雨漏りの原因と考え

られる天窓の取り付け部分を重点的に行い、雨漏りはしていない。

橋梁架け替え工事

問

国営事業で行う北海幹線改修と橋梁架け替えについて。

答 まちなみ課長

北海幹線の橋梁架け替え工事は、国営事業で行われ、町は橋の拡幅分を負担。

今年は、13号東線宮島橋と12号東線黄金橋の架け替えのほか、幹線改修は10号から下流600メートル、13号から上流の一部。

工期は9月から来年3月までで、いずれの橋も仮橋は掛けませんので迂回してもらうことになる。12号から13号までの北海幹線東側は仮設道路などで通行の確保をする予定。

グラウンド改修

問

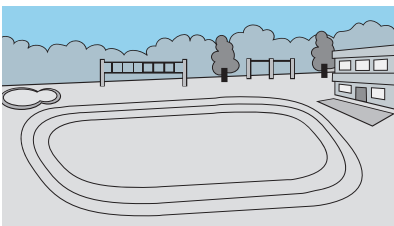
小学校グラウンド改修工事について。

答 教育次長

グラウンド改修工事費は5152万円で、国から三分の一の補助金が受けられる。

しかし、国の予算が減額され、グラウンド改修は補助採択の優先度が低く、額が大きいため、補助が受けられなかった場合は、次年度再度要望していきたい。改修内容は、トラックの暗渠施行・土の入れ替え、トラック

内外の芝吹付。



放課後の教育活動

問

小学校で取り組む放課後の教育活動について。

答 教育次長

新年度から、希望する小学生に、週3日程度、放課後の学習支援を行う。



退職教員等を先生として、学校内で、宿題やドリルを使い自由に学習してもらう予定。

児童保育利用者も、希望があれば利用できる。

今後の病院運営

問

3企業会計(病院・健寿苑・やすらぎの家)の経営状況が非常に厳しく、一般会計からの繰入金が多くなっている。負担がいつまでできるか不安がある。町長が考える中期的な病院運営について。

答 町長

地方病院は、人口減少、診療報酬改定、医師不足、看護師不足など、奈井江だけでなく全国的に厳しい経営状況である。

今後を見通し、病棟再編を行い、3階をサービス付き高齢者向け住宅にするこ

ととした。3施設とも経営は厳しいが、高齢化で必要性は大きくなっている。民間の力も借りながら新たな経営の在り方を検討したい。

町政 ここを問う

総括質問

3月定例会では6人の議員が行いました。

奈井江商業高校への支援

存続の意義を

もつと説明しては

町長 さらに、理解されるよう説明する



竹森 毅

竹森

①昨年度、奈井江商業高校への支援が拡大され、平成28年度も継続実施している。

その効果は、入学者の確保という形で、現れている。人口減少、少子化、高齢化の中で、わが町でも若者が減っている。

そのような中、高校があることによる、まちの活性化への効果・影響について、高額な補助をすることで、高校を存続させなければ

ならないのか、もつと町民に説明したほうが良いのではないか。

②少子化が進行する中、高



奈井江商業高校

校を存続させ続けるためには、今までの、商業学科という枠にとらわれない、もつと地域にとって特色のある専門学科か、総合学科へ学科再編することも学校が

生き残る一つの方法ではないのか。

町長

①昨年より、支援策の大胆な見直しを行い、その効果は現れている。

高校存続の重要性については、町内企業を含め地域の産業を担う人材育成が上げられる。

高校で育まれ、地元企業に就職することにより、若者の町外への流出を抑制することにもつながる。

生徒も、町内の各イベントに参加し、その存在をアピールしたり、「こども会議」の活動では、小学生や中学生をまとめ、リーダーシップを発揮し、まちづくりのパートナーとしての役割を果たしている。

若者が、老人の多い街を往来することで、それだけで、にぎわうこともあり、他にも、多くの潜在的な効果はあると思う。

今までも、産業まつり等でPRを行い、高校生自ら

もイベントなどでアピールしてきた。

今後も、様々な機会を通じて、町民にさらに理解を得るよう努める。

②高校は道立であり、町が直接、学校運営に関与できないが、地元中学生からも、商業学科として受け入れられている。併せて地元企業からも人材育成に期待されている。

現在、商業学科の中でも情報処理科に特化して教育を進めている。これも、学校の特色であり魅力の一つと考えている。

少子化が進む中、生徒の確保は厳しいものがあるが、今後の入学生の推移を注視しながら、魅力ある学校づくりに、支援していきたい。

Point 総括質問とは？

3月定例会でのみ行われ、提案された、新年度の執行方針・予算について、町長・教育長に、一般質問と同様の形式で行われる質問です。

栄養教諭の配置

食育の推進において変化は？

【教育長】食の自己管理能力の向上を



大関

平成17年度からスタートした栄養教諭制度だが、奈井江町は、平成20年度から配置している。

食育に関する指導と給食管理を一体のものとして行うことにより、給食と食に関する指導を実施するなど、教育上高い相乗効果をもたらされるとのことだが、本町ではどのような効果があったのか伺いたい。

教育長

栄養教諭を配置したことにより、「食に関する指導」



栄養教諭による「食育の指導」(5年生)

「給食指導」の中で、食の重要性、心身の健康、望ましい食習慣、食物アレルギーや食中毒予防などを指導している。

今後も、子どもの発達段階にに応じて、望ましい食習慣や食文化等、食育指導に一層努めていきたい。

健康づくりの推進

各種検診の受診率の向上対策は？

【町長】住民と連携し、受診へのはたらきかけを

大関

奈井江町の死亡原因のトップが、ガンによるもので、様々な種類のガンがあるが、どのガンで亡くなる方の割合も、ほぼ全道を上回る数字である。

しかしながら、各種ガン検診の受診率は、約3割と

低い数値であり、色々な病気の早期発見となる特定健診も約4割と低い割合だが、受診率を上げる具体策はあるのか。

町長

ガン死亡率の低下には、検診が有効とされ、集団検

職員の給与について

独自削減は継続するのか

【町長】健全財政堅持のため、当面継続

大関

町民総活躍ができるよう、奈井江版地方創生総合戦略の策定や第6期まちづくり計画の策定など、地方に任せられる仕事が増えてき

ている。

大きなミスや不祥事がない中で、給与の独自削減は職員のモチベーションを下げようで心配である。

診、特定健診と各種ガン検診を同日日程で行うことや、受付時間の改善、土・日曜日の実施、平成21年度からは無料クーポン券を発行するなど受けやすい検診に心がけている。

PR面では、全戸へのお知らせパンフレットの配布やハガキ、電話でのはたらきかけなどに努めている。

今後も、保健推進員など住民と連携し、全町的な取り組みとして進めて参りたい。

町長

職員労働組合と相談しながら、取り組みを平成14年度から実施してきた。

財政状況が楽観できないこともあるが、行政改革推進のために、まちづくりの相互理解のもとで進めている。

また、同時に町民に感謝される職員、そして、やりがいを感じられる職員を育成して参りたい。

これからの高齢者等支え愛活動について

地域での見守りをどう進める？

町長 社会福祉協議会との連携深め支援体制整える



三浦きみ子

三浦

「高齢者等支え愛条例」にもとづく災害時要支援者名簿ができあがり、町内会に手渡されたが、今後、地域での支え合い活動をどう発展させようとしているか伺う。

町長

昨年は「住民支え愛推進会議」や「小地域ネットワーク」の勉強会、社会福祉協議会主催の「要支援者名簿」の活用をうながす研修会を開催した。

今年は、具体的なサービスの検討を進めながら、住民にも参加してもらうワークショップの開催や、住民主体の活動を牽引していくリーダーの養成事業などを進める。

空知管内6割の市町が雪下ろし作業に補助

高齢者に雪下ろし補助を

町長 高齢者、障害者等への助成、前向きに検討

三浦

今年は例年にない大雪で、高齢者にとっては、屋根の雪下ろしが大変だった。業者に依頼しやすいよう補助制度を設けてはどうか。

町長

高齢者や障害者など対象が限定される場合もありますが、助成制度の創設に向けて前向きに検討したい。

喫煙や受動喫煙の有害性の啓蒙について

子どもを受動喫煙から守ろう

町長 たばこの害、広報等で積極的に広めたい

三浦

第1次すこやかプランの成果として喫煙率は下がったが、子育て世代の喫煙が比較的多い。子どもが「たばこを吸わないで」と言える環境作りが大切では。

町長

10年前と比べて喫煙率は25・8%から17・5%に下がった。しかし、いまだ30代、40代の喫煙者が3割以上であることから、家庭での受動喫煙が懸念される。28年度以降も重点課題の一つとして引きつづき取り組んでいきたい。

公園の整備について

子どもの集まりやすい公園の設置を

町長 町民と意見交換し検討したい

三浦

公園の整備計画と児童館の複合化等については、子どもの意見を十分に取り入れていただきたい。

町長

公園の効率的な維持、少子化のため、遊具のある公園は連合区に1ヶ所ずつに集約したい。
また、現在3ヶ所ある児童館を複合化する場合には遊具を配置する。



南町児童館

今後、子ども会議や子育て会議など町民との意見交換をしながら検討したい。

新栽培技術の取り組み

産地ブランド確立支援事業の 予算拡大について

町長 農業者や関係機関との連携を深め対策を検討



遠藤 共子

遠藤

①産地ブランド確立支援事業は、ケイ酸資材や、薬剤の支援等が行なわれてきた。

新年度は予算を拡大し、今後5年間支援を続けるというものであるがこれに対する考え方を伺う。

②近年、農業者一戸当たりの作付面積が拡大し、作業の省力化や低コスト化を図るため、将来を見据え新栽培技術を導入する農業者も増加傾向にあるが、必ずしも経営収支の改善に結び付



かない問題がある。今後、新栽培技術の取り組みへの支援について伺う。

町長

①平成23年より生産資材等の助成を行い、現在ではゆめぴりかの安定的な生産と低タンパク米の生産が向上している。

現在の作付面積は全体の

4割を占め、今後増加見込みにある。

一方、担い手不足などにより、農業者の作付面積の増加、生産コストの増加などの課題に直面している中、関係機関との連携を図り、側面的支援として助成措置を継続していく。

②新たな栽培技術への支援については、生産者の土地の一部を借り水稻、小麦、トマトなどの試験栽培を行い、収量増加につなげていく。

重点地区として高島地区が指定され、大規模化が進む中、作業の効率化や農業経営の安定化を目指し、水稻直播栽培の研究が進められている。

これまでも、農業担い手育成基金の活用等において支援を行った経過がある。今後、地域としてどのような戦略をかがけ生産性を上げていくか農業者、関係機関と連携を深めながら、基金の活用も含めて、有効な対策を検討する。

定住対策の推進

検証とより効果的なPR活動について

町長 地方創生の最重要戦略に位置づけ推進する

遠藤

①町外から転入された方との意見交換会を行うことが、今後の定住施策の参考になるのではないかと
②定住促進事業の検証の結果について
③地元企業へのPRはもとより、都市部で開催される定住移住促進相談会への参加を広げ町のPRを行ってはどうか。

町長

①現在、住宅申請者に対し定住先を奈井江に決めた理由等のニーズの把握を行い、転入後は、町長への手紙、町政懇談会など様々な場で、意見を述べる場面がある。

3月から、戸籍窓口において転出入時にアンケート調査を開始した。

今後、広くご意見を伺いながら、まちづくりを進めていきたい。

②定住促進では、新聞やチラシ、駅ホーム前に大型看板の設置、ホームページの更新など、PRの充実を図ってきた。

個人や事業所からも好評を得ており、36年ぶりに転入増加となるなど、大きな成果を上げている。

引き続き、検証を行いながら移住定住促進に努めている。

③移住定住を、地方創生の重要戦略に位置づけているほか、お試し移住によるPRや、空知・中空知が連携して地域の魅力を伝えることが重要と考えている。

これらは、国の交付金を活用しながら進めるため、交付決定を見極め、事業の推進を図りたい。

移住・定住の促進

町保有の土地、家屋の分譲について

町長 職員住宅の解体分譲を進める



森岡新二

森岡

定住対策にもつながる「町が保有する土地、家屋の分譲」の進め方について伺います。さらに土地では旧消防庁舎、建物では旧江南小学校の有効利用の可能性について伺う。

町長

平成27年度着手した「公施設等総合管理計画」にもとづいて、町民ニーズや施設の評価をおこない今後の方向性を検討してきた。今年度は老朽化が進む北町の職員住宅の解体と分譲をおこなう。

旧消防庁舎については、景観や老朽化が課題である

企業誘致活動

さらなる努力を……

町長 全力で企業誘致活動に取り組みたい

森岡

空知団地の活用を含め、新たな企業の誘致活動は、定住や雇用、町の活力向上につながる重要な取り組みであり、今後とも努力をいただきたいと思っております。そこで新年度での企業誘致活動について伺う。

町長

空知団地への新たな企業の誘致活動は町の活性化にもつながる重要な施策です。関係情報をもとに、道

り、今後協議を進めていく。旧江南小学校については、現状のまま活用することができないかどうかを含めて幅広く検討をしていく。



サービス付き高齢者向け住宅

利用料・入居要件等について

町長 6月定例会までに課題を整理

森岡

病院3階に奈井江版CCR構想として、11月開設を目的に準備が進められている「サービス付き高齢者向け住宅」について次の三点を伺う。

- ①維持管理を含め、設備やサービスを付加価値としてとらえた料金設定が必要と思われるが、利用料についての基本的な考え。
- ②CCR構想は都市から地方への移住が大きなテーマですが、入居募集に当たっての要件について
- ③病院事業会計内における会計処理について

町長

①住まいの確保とともに、医療・介護サービスを一体的に提供し、低価格でゆとりのある生活をおくっていただくということが、基本

コンセプトの一つであり、近隣市町の民間事業者が運営する、同様の施設の設定料金を勘案し、合わせて所得の状況に応じた利用料の設定を考えている。

②町民はもとより、奈井江版CCR構想にもとづき、町外からも広く募集をしていく予定であります。募集の進め方や要件、募集期間等、様々なケースを想定しながら、早急に整理をしていく。

③道との協議の中で、病院と一体の運営であり、病院事業会計内での処理が可能との結論を得た。

公営企業会計基準により、病院と住宅部分の収支状況を明らかにした形での会計処理をしていく。



在宅介護支援の推進

社会福祉協議会の位置付け

認知症施策の内容

町長 社協の体制整備・集中支援チームの強化



笹木利津子

笹木

医療・介護・予防・住まい・生活支援等を提供できる体制づくりのため、社会福祉協議会に専門職を配置し、在宅介護全般の総括的な窓口体制は可能か。認知症施策事業の具体的な内

容について。

町長

社会福祉協議会の果たす役割は大きい。

協議組織である、住民支え愛推進会議と連携し、地域とつながりを持った活動を期待する。

今後の推進にあたり、明確なビジョンをもち、体制の検討・協議を行い支援して参りたい。

また、認知症総合支援事業を新たに位置づけ、初期集中支援チームを設置し、早期発見に努めたい。

生涯学習活動の推進

公民館耐震診断、多目的使用の検討

教育長 耐震診断後検討

笹木

公共施設等総合管理計画中間報告において、公民館（社会教育センター）の耐震診断・改修の検討とされているが、診断後の検討と集約化や複合化について。

教育長

公民館は建設された年度から、耐震診断が必要である。

今後の耐震診断等により、改修等の費用対効果を検証し存続の可否を判断したい。

施設の有効活用として、集約化・複合化についても選択肢の一つと考えており、費用やメリット・デメリットを判断しつつ、今後、町民の皆さんと充分協議し検討したい。

学校教育の充実

個別の支援計画の活用

教育長 伸びる手帳活用

笹木

特別支援教育において、早期発見・早期対応が重要である。

就学前から各段階の移行期における引継ぎとなる「個別の支援計画の活用」について。

教育長

本年検討・協議を重ね、将来

笹木

子育て支援の充実

子育て世代包括支援センター！広域での体制確保

町長 切れ目ない体制はかる

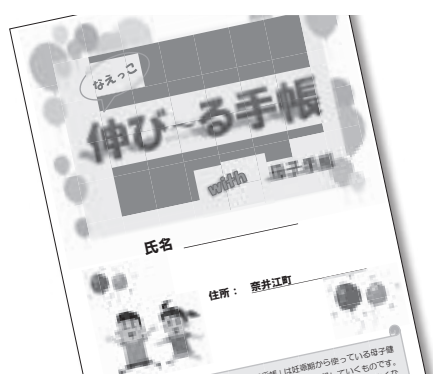
育・健康相談等を受けている。

また必要に応じた専門機関への紹介も行い、ケース会議の中で情報を共有し、子育て支援を実施している。

広域体制では、各ステージについて町単独が困難な場合、関係機関との連携も含め、いかにニーズに合った支援ができるか検討したい。

町長

現在、各課が連携し育児・発



所管事務 調査報告

【委員会からの意見・要望】

本町が目指す人口の将来展望において、国の政策と整合性をはかり、中長期的な視点に立ち、継続的な人口減少克服の取り組みが必要である。

総合戦略では、将来にわたり活力のある町の創生に向け、施策の効果が高まるよう望むものである。

ネットワークシステム整備や病棟再編など、地域医療の一層の取り組みを望む。

経営健全化中期計画では、病院の役割、機能を明確にし、地域に密着した運営と、更なる経営の健全化に努めていただきたい。

サービス付き高齢者向け住宅への転用では、町内外の関心が高い。

安心した住まいの提供のため、更なる精査、検討を重ね、奈井江版CCRC構想と一体となった推進を期待する。

学校経営について

家庭学習や モラル教育が重要

【調査内容】

① 小・中学校の経営方針

② 学校評価

③ 学校の様子、課題改善策、進路状況等

【委員会からの意見・要望】

学校の様子は落ちついて

おり、授業の工夫改善などにより、基礎学力の定着がうかがえる。



中学校訪問

全国学力・学習状況調査によると、全国平均にくらべて家庭学習の時間が少なく、ゲームやスマートフォン等の利用時間が長いなどの課題が報告された。家庭学習や情報モラル教育について、学校、保護者、関係機関がさらに連携した取り組みに努力いただきたい。

障がい者自立支援について

就労支援の推進を

【調査内容】

① 障がい福祉サービスの給

付・利用状況

【委員会からの意見・要望】

各町内各施設では、新たなサービス、利用者の高齢化、施設の維持管理、地域とのつながりなどの課題に取り組んでいる。

町独自の就労支援事業では、さらなる内容の検討、推進に努めていただきたい。

障がいのある人が安心して地域で暮らすために、おもいやりの障がい福祉条例、障がい者福祉計画等の着実な推進により、障がいへの理解、相談体制の充実などに引き続き努めていただきたい。



ないえ福祉会しいたけ作業所

総合戦略について

重要戦略の奈井江版 CCRC構想に期待

【調査内容】

① 奈井江町人口ビジョン

② まち・ひと・しごと創生

総合戦略

③ 重要戦略

・奈井江版CCRC構想

・町外通勤者等をターゲット

にした移住・定住戦略

第1回臨時会

2月8日開催

〈議案〉

■ 奈井江町税条例改正の専決処分

■ 奈井江町職員の給与に関する条例改正
月額給与を平均0.4%引上

勤勉手当を0.1ヶ月分増

■ 27年度各会計補正予算

一般会計では、排雪経費など5586万円を追加

■ 奈井江町議会議員報酬等

に関する条例改正
期末手当を0.1ヶ月分増

(議会傍聴者0人)

議会運営委員会報告

1月15日

議会懇談会開催要項について審議

2月8日

第1回臨時会の議会運営について審議

3月15日

第1回定例会の議会運営について審議

全員協議会報告

◆開催日

1月27日 議員報酬について審議

2月8日

第1回臨時会の議会運営について審議

2月18日

議会関係予算について審議

2月29日

第1回定例会の議案説明ほか

3月7日

第1回定例会の議会運営について審議

3月11日

行政報告ほか

3月18日

■ 広報常任委員会報告
議会だより第3号(5月1日発行)編集のため2回の委員会を開催

第2回定例会 (予定)

■ 日 程 6月14日(火)～16日(木)

■ 場 所 役場3階議事堂

どなたでも傍聴できます。
お気軽にお越しください。

問合わせなどは、議会事務局まで



65-2166



gikai@town.naie.lg.jp

みなさんの声を
これからのまちづくりに

第1回議会懇談会のお知らせ

町民により一層開かれた議会をめざし、はじめての議会懇談会を開催いたします。

議会活動の現状をご理解いただき、みなさんとの意見交換をとおして、議会やまちづくりへのご意見や要望を直接うかがい、これからのまちづくりに活かしていきたいと思ひます。

昼の部と夜の部があります。どちらでもお気軽にご参加ください。

開催日 6月3日(金)

時 間 (昼の部) 午後1時30分から、
(夜の部) 午後6時30分から

会 場 文化ホール交流談話室

表紙の1枚

新一年生が初めての登校をしました。



編集後記

議会だより第3号となり、徐々に編集作業にも慣れてきました。今号は、一年で最も重要な新年度予算の審議をした「第1回定例会」を中心に編集をしています。

今後とも、皆様に親しまれる誌面作りに努力します。

発行 奈井江町議会
編集 広報常任委員会委員長 三浦きみ子
副委員長 森岡 新二
委員 遠藤 共子
竹森 毅